



日頃、愛知工業大学の地域防災研究センターを中心に、様々な立場から地域の防災啓発で活躍されているみなさんに中部技術事務所保有の災害対策用機械の体験見学を通じて国土交通省の災害支援の取り組みを知っていただきました。今後の活動にとって、この経験が参考になれば幸いです。

- 開催日時 令和5年3月15日(水) 13:30~16:00
- 実施場所 中部技術事務所構内及びDXセンター(名古屋市東区大幸南1-1-15)
- 見学者 愛知工業大学 地域の防災啓発に携わる学生及び関係者(計9名)
- 見学内容 対策本部車・待機支援車・排水ポンプ車(30m<sup>3</sup>級・高揚程型)・照明車(新旧10m級・20m級) 衛星通信車・無人化施工バックホウ・橋梁点検車(歩廊式・バケット式)



**無人化施工バックホウ**  
運転席の“ロボット”の動きに感動!!



遠隔操縦で実際に土を掘ってみてまた感動!!

相変わらず人気のこの**照明車**  
「ミニカー持ってます!!」という方も



参加者の関心の高かった**橋梁点検車**



衛星通信車のしゅくみを説明



明治用水頭首工で活躍した**排水ポンプ車 高揚程型**

体験してみると“なるほど!”よくわかる!!

(左から) 対策本部車・待機支援車・排水ポンプ車 30m<sup>3</sup>級・照明車 20m級・10m級



Twitter  
やっています

